

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	5342
部名	保健福祉部	課名	陽光園	課長名	八木豊彦
事務事業名	知的障害児通園施設運営事業				
予算上の事務事業名	第一陽光園				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施策名	第2施策 療育体制の整備と保育・教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	児童福祉法、同施行令、同施行規則、児童福祉施設最低基準 相模原市立療育センター条例、同施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
当園は、児童福祉法第43条に基づく知的障害児通園施設で、市内在住の知的障害児(就学前)を保護者のもとから通園させ、施設と家庭が協力して、児童の知的発達の促進及び身辺処理等の自立を高めることを目標とする。 また、障害児を取り巻く家庭、地域との関係の中でより良い療育の環境を整えるために保護者支援の充実を図るとともに、医療、教育等関係機関との連携を深める。			措置児(市内在住の学齢前の知的障害児)及びその保護者、家族		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1. 療育活動 クラス療育、個別療育、グループ別療育、交流保育(集団・個別)、発達検査・評価 2. 保護者支援 保護者相談(週1回)、個別面接(年5回以上)、クラス・グループ別療育懇談会、家庭訪問 3. 職員研修 療育相談指導員によるスーパービジョン(助言指導)の実施 年7回 総事業費 4,609千円 ・報酬 1,815千円 ・報償費 112千円 ・需用費 2,578千円 ・使用料 11千円 ・備品購入費 93千円					
6 関連・類似事業や他市の状況	他市においても、同様の事業を実施している。				
7 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	4,897	4,723	4,609	5,212	5,212
一般財源	0	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	4,897	4,723	4,609	5,212	5,212
人件費の合計	136,156	130,030	124,509	124,743	133,841
事業コスト合計(a)	141,053	134,753	129,118	129,955	139,053
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	知的障害児通園施設運営事業			対象名称(単位)	平均措置児数(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	141,053	134,753	129,118	129,955	139,053
対象数	49	48	46	49	49
単位あたり経費(円)	2,878,633	2,807,354	2,806,913	2,652,143	2,837,816
前年度比		0.98	1.00	0.94	1.07

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	保護者との個別面接回数 (回)	指標式と指標の説明		保護者1人当りの平均年間個別面接回数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	5.6	5.7	5.8		
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
目標達成度	1.12	1.14	1.16		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	措置児の出席率(%)	指標式と指標の説明		措置児1人当りの平均年間出席率	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	81.7	84.3	85.5		
目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度	102.1	105.4	106.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		第二陽光園(肢体不自由児通園施設)との相互利用制度の導入により、現在の定員50人を上回る(最大8人)受入れが可能となるよう、施設間の職員相互の支援体制、非常勤職員の有効活用などを進め、療育体制の充実に努める。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
利用者の様々なニーズや関係機関等の意見を療育支援にフィードバックし日々改善を行うこと及び研修の充実等により職員の資質の一層の向上を図ること、更に第二陽光園職員との連携を図ることにより、成果の向上に努める。			療育の専門性を更に高めていくための方策が研究課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			